

小学校 国語

幼児教育での学びを受け、発展させる。

重点1 言語活動を通して付けたい力を育成する

- 各学年に示された指導事項をどの単元及び言語活動を通して指導するかを明らかにした年間指導計画を作成し、活用している。※例：マトリックス型の指導計画表
- 指導事項に示された資質・能力を育成するために言葉を拠りどころにした言語活動を児童の実態を踏まえて設定し、言葉による見方・考え方を働かせた授業を構想している。

【ポイント】

- ・教科書や教材ありきではなく、付けたい力(指導事項)を焦点化した単元づくりが大切です。
- ・言語活動を設定する際、指導者が実際に活動を行ってみると、ねらいに沿った活動であるかや、具体的なゴールイメージ(力を付けた児童の姿)が確認できます。

重点2 主体的・対話的で深い学びを実現する授業展開を工夫する

- 児童自身が目的や必要性を感じる学習課題を設定し、見通しをもって個々の考えを形成する学習過程を重視した学習を進められるようにしている。
- 学習の系統性を意識し、単元と関連が深い既習事項を想起して活用できるよう支援している。
- ICT機器等を活用し、「個別最適な学び」と「協働的な学び」を一体的に充実させている。
- 対話的な学び(他者との伝え合い・作品や著者等)を効果的に設定し、多様な考えを引き出したり深い学びにつなげたりする学習展開を工夫している。
- 振り返りの観点を明確にし、自己との対話を通して学びの深まりや変容を自覚できる場面を設定している。
- 授業と家庭学習とを関連させ、身に付けた言語能力の定着を図り、他教科を含めた学習や日常生活において活用しようとする意欲につなげている。

【ポイント】

- ・児童がどう学ぶかという視点で授業を構想し、児童と共に課題解決のための学習計画や見通しを立て、主体的な学びの場となるようにしましょう。
- ・「情報の扱い方に関する事項」は、他教科を含めた今後の学習に生かせるよう、系統的に指導する場面を繰り返し設定しましょう。

重点3 学習評価の一層の改善・充実を図る

- 3観点を意識して「指導と評価の一体化」を図り、記録に残す評価と指導に生かす評価を明確にした指導計画を立て、多様な評価方法を工夫している。
- 観点別の評価は、原則として単元や題材など内容や時間のまとまりごとに、それぞれの実現状況を把握できる段階で行うなど、時期や場면을精選している。
- 単元の指導事項と言語活動を基に評価規準を設定する際、目指す児童の姿を具体的に表現している。
- 「主体的に学習に取り組む態度」の評価を、「知識及び技能」「思考力、判断力、表現力等」の観点の状況を踏まえて、「粘り強い取組を行おうとする側面」、「自らの学習を調整しようとする側面」の二つの側面から評価している。

【ポイント】

- ・目指す児童の姿を具体的にするのに併せて、その姿が見られるような授業づくりを目指すことが大切です。

中学校 国語

小学校までの学びを受け、発展させる。

重点1 言語活動を通して付けたい力を育成する

- 各学年に示された指導事項をどの単元及び言語活動で指導するかを明らかにした年間指導計画を作成し、活用している。※例：マトリックス型の指導計画表
- 指導事項に示された資質・能力を育成するために言葉を拠りどころにした言語活動を生徒の実態を踏まえて設定し、言葉による見方・考え方を働かせた授業を構想している。

【ポイント】

- ・教科書や教材ありきではなく、付けたい力(指導事項)を焦点化した単元づくりが大切です。
- ・言語活動を設定する際、指導者が実際に活動を行ってみると、ねらいに沿った活動であるかや、具体的なゴールイメージ(力を付けた生徒の姿)が確認できます。

重点2 主体的・対話的で深い学びを実現する授業展開を工夫する

- 生徒自身が目的や必要性を感じる学習課題を設定し、見通しをもって個々の考えを形成する学習過程を重視した学習を進められるようにしている。
- 学習の系統性を意識し、単元と関連が深い既習事項を想起して活用できるよう支援している。
- ICT機器等を活用し、「個別最適な学び」と「協働的な学び」を一体的に充実させている。
- 対話的な学び(他者との伝え合い・作品や著者等)を効果的に設定し、多様な考えを引き出したり深い学びにつなげたりする学習展開を工夫している。
- 振り返りの観点を明確にし、自己との対話を通して学びの深まりや変容を自覚できる場面を設定している。
- 授業と家庭学習とを関連させ、身に付けた言語能力の定着を図り、他教科を含めた学習や日常生活において活用しようとする意欲につなげている。

【ポイント】

- ・生徒がどう学ぶかという視点で授業を構想し、生徒自身が目的に沿って試行錯誤しながら主体的に学習を進める姿を目指しましょう。

重点3 学習評価の一層の改善・充実を図る

- 3観点を意識して「指導と評価の一体化」を図り、記録に残す評価と指導に生かす評価を明確にした指導計画を立て、多様な評価方法を工夫している。
- 観点別の評価は、原則として単元や題材など内容や時間のまとまりごとに、それぞれの実現状況を把握できる段階で行うなど、時期や場면을精選している。
- 単元の指導事項と言語活動を基に評価規準を設定する際、目指す生徒の姿を具体的に表現している。
- 「主体的に学習に取り組む態度」の評価を、「知識及び技能」「思考力、判断力、表現力等」の観点の状況を踏まえて、「粘り強い取組を行おうとする側面」、「自らの学習を調整しようとする側面」の二つの側面から評価している。

【ポイント】

- ・生徒が学習の見通しをもてるよう、学習評価の方針を事前に生徒と共有しましょう。評価結果についても、どのような方針で評価したかを共有しましょう。

高等学校 国語

中学校までの学びを受け、発展させる。

重点1 言語活動を通して付けたい力を育成する

- 各学年に示された指導事項をどの単元及び言語活動で指導するかを明らかにした年間指導計画を作成し、活用している。※例：マトリックス型の指導計画表
- 生涯にわたる社会生活に必要な言葉の力を高めることを意識して付けたい力を明確化し、その力を付けるのに適切な言語活動を単元の中で設定し、生徒の主体的な学びを引き出している。

【ポイント】

- ・「読むこと」「書くこと」「話すこと・聞くこと」の各領域をバランスよく扱い、生徒が単元を通して身に付けた力を実感できる授業デザインが大切です。

重点2 主体的・対話的で深い学びを実現する授業展開を工夫する

- 生徒自身が目的や必要性を感じる学習課題を設定し、見通しをもって個々の考えを形成する学習過程を重視した学習を進められるようにしている。
- 学習の系統性を意識し、単元と関連が深い既習事項を想起して活用できるよう支援している。
- ICT機器等を活用し、「個別最適な学び」と「協働的な学び」を一体的に充実させている。
- 対話的な学び(他者との伝え合い・作品や著者等)を効果的に設定し、多様な考えを引き出したり深い学びにつなげたりする学習展開を工夫している。
- 小中学校での学習を踏まえ、見通しをもたせたり、振り返りの時間を確保したりして、生徒が自身の学習状況を把握し、調整しようとする場面を設定している。

【ポイント】

- ・これから生きる生徒に付けたい資質・能力と、そのために必要な学習のあり方を踏まえた授業改善を推進することが大切です。

重点3 学習評価の一層の改善・充実を図る

- 3観点を意識して「指導と評価の一体化」を図り、記録に残す評価と指導に生かす評価を明確にした多様な評価方法を工夫している。
- 単元の指導事項と言語活動を基に評価規準を設定する際、目指す生徒の姿を具体的に表現している。
- 「主体的に学習に取り組む態度」の評価を、「知識及び技能」「思考力・判断力・表現力等」の観点の状況を踏まえて、「粘り強い取組を行おうとする側面」、「自らの学習を調整しようとする側面」の二つの側面から評価している。
- 学習評価の妥当性や信頼性を高めるとともに、生徒自身が学習の見通しをもてるよう、学習評価の方針を事前に生徒と共有している。


【ポイント】

- ・学習評価の妥当性や信頼性を高めるには、校内の教員間で付けたい力や評価の在り方を共有することが大切です。

StuDX Style 国語科(文部科学省)

※小、中、高校でのICT活用ポイントと授業での活用事例のダウンロード可能

https://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/zyouhou/mext_00003.html



小・中・高を通じて身に付けさせたい 資質・能力(目指す子どもの姿)

- ◎課題解決に向けて主体的に言語活動に取り組むとともに、言語感覚を磨き、国語を尊重する態度を身に付けている。
- ◎日常生活・社会生活において必要な国語の特質について理解し、適切に使っている。
- ◎他者とのかかわりの中で、互いの立場や考えを尊重しながら、思いや考えを言葉にして伝え合っている。
- ◎読書に親しみ、読書を通して人生を豊かにしようとする態度を身に付けている。
- ◎目的や意図に応じて必要な情報を収集・整理し、理由や根拠を示しながら自分の考えを明確に表現している。情報を活用する際には、学校図書館やICT機器も有効に活用している。

※例 マトリックス型の指導計画表

国語科 マトリックス表		[思考力、判断力、表現力等]																	
5年生	指導事項 学習過程	A 話すこと・聞くこと			B 書くこと					C 読むこと									
		話すこと	聞くこと	話し合い	読書の設定	構成の検討	考えの形成	推敲	共有	読書活動例	読書活動例	読書活動例	読書活動例	読書活動例	読書活動例	読書活動例			
月	単元名	アイウ	ク	エ	オ	ア	イ	ウ	ク	エ	オ	カ	ア	イ	ウ	ク	エ	オ	カ
4	●●●●を語ろう	ア	◎	○	○	ア													
5	登場人物について感じたことを伝え合おう	ク												◎				○	イ
5	◆◆◆を書こう	オ							○	◎			ク						
6	▲▲▲について話し合おう	イ				◎	ク												

研修等について

- 小学校国語科教育講座 9/12(木) 島根県教育センター
- 小中学校国語科教育書写実技講座
11/13(水) 浜田教育センター
- 中・高等学校国語科教育講座 11/7(木) 島根県教育センター
- 新任学校図書館担当者研修 6/19(水) オンライン
- 学校図書館を活用した授業改善講座 10/3(木) オンライン

E10S しまねの教育情報 Web 授業づくり

(島根県教育庁教育指導課)

<http://eio-shimane.jp/class-making/>

※小学校(中学校) > 国語 > 学習指導案 を参照



『指導と評価の一体化』のための学習評価に関する参考資料

(国立教育政策研究所)

<https://www.nier.go.jp/kaihatsu/shidouairyuu.html>

※小、中、高校のPDFデータをダウンロード可能

